

平成30年度 第2回国際委員会議事録

日時：平成30年5月23日（水）

場所：神戸国際会議場 407 17:00～18:00

出席：（担当理事）中村雅也

（委員長）松山幸弘

（委員）小澤浩司、波呂浩孝、千葉一裕、酒井大輔、川口善治、
宮腰尚久、伊東学、八木満、高橋真治

JSSR2019 事務局（平井高志）

欠席：石井賢

（敬称略）

1. 担当理事から委員会への報告事項、検討依頼事項

1) TWSS2019 への派遣。

JSSR2018 における EPA 上位3名（下記）を対象とする。

慶応義塾大学 小島 孝太、浜松医科大学 小林 祥、大阪大学 串岡
純一。

2) AO Global Spine Congress 2018 への参加

松山委員長、波呂委員、川口委員、石井委員が出席した。

3) ISSLS2019 京都に関して、千葉委員と紺野会長の間で連絡を取り合い、
協力事項を確認して頂く。

4) APSS との協力体制構築に向けて

APSS と協力体制を強化していく。IMAST2020 が日本で開催された場合
には協力する。

5) SSA との協力体制構築に向けて（酒井委員）

Spine Society of Australia の会長とメールベースの連絡を取り合い、
アライアンス締結、代表者の相互招聘、会員の参加費割引、フェロー
シップについて協議を進めることが承認された。

2. 委員会から理事会への審議依頼事項

1) JSSR 会員への各種国際的な情報をメール一斉配信(Bcc)について。

学会のランク付けをもとに実施する。選別は中村担当理事・松山委員長
に一任し、必要時に委員会で審議することで合意（承認事項）

2) SpineWeek2020 の参加について

シンポジウムを1つ開催する予定であるが、中村担当理事より事務局へ改めて予定スケジュールを確認する。シンポジウムの内容に関しては ISSLS/JSSR シンポジウムなど盛会となるような工夫を検討する。(継続事項)

また、理事会議事録を再度確認し、Spine week2020 への協力について改めて理事会の承認を得る。

3. 委員会内部討議事項

各海外学会・団体に対してランク付けを行うことにより対応を統一する。

ランク付け： S ランク：KSS, TWSS
A ランク：APSS, NASS
B ランク：SSA
C ランク：ISSLS, CSRS, Spine Week, Global Spine

S ランク：アライアンスを結んでおり、国を代表する団体同士の相互の定期的交流、代表者の相互招聘を行う団体。派遣時は旅費支給あり(原則 20 万*)。また、フェロースhipがあり、メール配信も実施する。

A ランク：積極的な交流、代表者の相互招聘を行う団体。派遣時は旅費支給あり(原則 20 万*)。メール配信を実施する。

B ランク：今後交流を深めていくことを検討している団体。交流内容はその都度委員会で検討し、理事会承認後決定する。

C ランク：積極的に JSSR からは関与しない団体。状況に応じて対応を委員会で検討し、理事会承認後決定する。

* 費用負担に関して：JSSR を代表して会員を派遣する場合には、旅費支給は原則 20 万円とする。ただし派遣時の立場や地理状況等を踏まえ、必要に応じて金額を変更する場合がある。

委員会での合意を得られたため、理事会への審議を依頼する。

4. 次回委員会日程:日本腰痛学会中(10月26日午前7時-8時)

以上